森づくり最前線

利根沼田森林管理署　南郷森林事務所
首席森林官　櫻岡　智之

私が勤務する南郷森林事務所は、沼田市の南東に位置し、南側はみどり市、桐生市、前橋市、渋川市、昭和村に接している国有林約９千ｈａを管理しております。

当管内には、赤城山（黒檜山［くろびさん］1,828m）があり、登山ルートこそ南郷側に有りませんが、沼田市県道沿いには、県指定天然記念物のヒカリゴケの自生地、麓には、かけ流しの温泉もあり、地元住民や観光客に親しまれてます。

根利には、林業機械化センターがあり、管内国有林を研修フィールドとして提供しており、林業の機械化や林業従事者の人材育成を目的とした研修が行われています。

研修風景（作設技術）

当管内は、スギやカラマツなどの人工林が約７割を占めており、昔から林業が盛んな地域です。昭和初期には、伐木運搬のための根利森林鉄道が開通し、木材生産が盛んに行われていました。現在においても、先代が作りあげた豊富な森林資源を活用し、主伐や間伐を毎年実施しており、地域の木材産業に貢献しているところです。

根利森林鉄道（トンネル跡）

近年は、国有林、民有林問わずシカによる樹木の食害やクマによる剥皮被害などの獣害が増加傾向にあり、今後の課題となっています。

クマ剥皮被害

今年度も獣害対策としてリンロンテープ巻きなどを実施していますが、なかなか被害が減らないのが現状です。

剥皮対策（リンロンテープ）

また、管内では林業の課題となっている効率化、低コスト化にも取り組んでおり、昨年、高芝国有林にて、成長が早く下刈回数の削減等が期待できる早生樹の「コウヨウザン」の植栽現地検討会及び試験植栽を行いました。

東日本での植栽事例は少なく、寒冷な利根沼田地域で育つことが期待されております。今後、調査・研究を群馬県と共同で行うことになっています。

コウヨウザン植栽

着任して５ヶ月経ち、まだ管内を回り足りないですが、そんな中でも国有林内で獣害箇所をみかけると心が痛みます。これからもせっかく育った森林を大事に守っていきたいと思います。また、南郷は、地元住民にとって国有林が身近な地区であるため、地元を含め国民に信頼されるような森林施業を行っていきたいと考えています。

発行所　関東森林管理局
編集　総務課
■ＴＥＬ　（０２７）２１０－１１５８
■ＦＡＸ　（０２７）２３０－１３９３